

“食品・飲料業界初” キリングroup 2 工場で CO2 を排出しない水力発電による電力を採用 ～さらに、「グリーン熱証書」および「グリーン電力証書」の活用を推進～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、4月1日（土）より CO2 を排出しない水力電源を販売する東京電力エナジーパートナーのグリーン電力メニュー「アクアプレミアム」を食品・飲料業界として初めて採用します※1。導入はキリンビール取手工場およびキリンビバレッジ湘南工場で実施します。これは食品・飲料業界のみならず工場としても初めての採用事例であり、年間約 15,000 トン規模（杉の木約 107 万本相当※2）の CO2 排出量を削減することになります。



さらに当グループでは、資源エネルギー庁および環境省が活用を推進する「グリーン熱証書」と「グリーン電力証書」の活用を拡大します。両証書は、再生可能エネルギーによって生み出された熱や電力の「環境付加価値」を、「グリーン熱証書」「グリーン電力証書」という形で取引することで、再生可能エネルギーを利用したとみなされ、地球温暖化対策に寄与することができるものです。キリンビール神戸工場の化石燃料由来の熱消費量に相当する「グリーン熱証書」、およびシャトー・メルシャンの全電力使用量に相当する「グリーン電力証書」で対応する予定で、これにより約 8,000 トン規模の CO2 排出量を削減することにつながります。

これらは、今年3月に「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の承認を受けた、当社の温室効果ガス (GHG※3) 中期削減目標達成に向けたものです。削減を見込む計約 23,000 トンの CO2 は約 6,600 世帯の年間排出量に相当します※4。当社はこうした取り組みにより、キリングroupの長期環境ビジョン※5達成に向けて着実に取り組みを進めていきます。

- ※1 「アクアプレミアム」において当社が支払う電気料金の一部は、水源涵養林の育成など水力資源の維持・拡大などに活用される。
- ※2 年間 14kg/本の CO2 吸収（出典：環境省/林野庁 地球温暖化対策のための緑の吸収源対策）
- ※3 greenhouse gas の略
- ※4 平成 28 年環境省「家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査」より
- ※5 「水資源」「生物資源」「容器包装」「地球温暖化」の4つの柱を重要なテーマとして掲げ、資源循環 100%社会の実現を目指している。

キリングroupは「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、お客様と共に幸せな未来をめざしていきます。

今後もキリングroupは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンにかかわるすべての人々と共につないでいくために、さまざまな活動に取り組んでいきます。

<参考>

「アクアプレミアム」について

http://www.tepco.co.jp/ep/notice/pressrelease/2017/1386201_8662.html

キリングroupの環境活動

<http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/>

キリンの環境への取り組み

<http://www.kirin.co.jp/csv/eco/>

(本件お問い合わせ先)

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部
東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028

(お客様お問い合わせ先)

キリン株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502
キリンホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp>